

エポロ油面用プライマー

床面用
改修用

溶剤系ウレタン樹脂下塗材(1液形)

エポロ油面用プライマーは油(動植物油、鉱物油)とのなじみが良好で、屋内・屋外の油やドロに汚れたコンクリート面への塗装を可能にしたプライマーです。油が混じっても強度、耐水性、乾燥性などの性能低下が少なく、付着強度に優れているので下地にしっかりと浸透します。

標準塗装仕様

工程	使用材料	調合比 (重量比)	希釈率 (%)	塗布量 (kg/m ²)	塗装方法	工程時間 (23℃)
下地処理	油汚染度 ・軽度の場合：シンナーで油を溶解しウエスで拭き取り、ポリッシャーで表面を粗面にする。 ・中程度の場合：OKクリーナーでブラシ洗浄し、多量の清水で十分に洗浄する。 ・重度の場合：ケレンで堆積物を除去し、コンクリート表面を露出させる。その後OKクリーナーでブラシ洗浄し、多量の清水で十分に洗浄する。					
下塗り(1回目)	エポロ油面用プライマー	1液型	無希釈	0.15	刷毛、ローラー、 ブラシ	5～48時間
下塗り(2回目)	エポロ油面用プライマー セメント	プライマー：セメント 1：1	無希釈	0.30	刷毛、ローラー、 ヘラ	4～48時間
上塗り(※)	適応上塗り：エポロフロアー ES、エポロフロアー U、イサムフロアー PU(内部用・外部用)、イサムフロアー V					

※上塗り材の塗布量および希釈率は上塗り剤の仕様に基づきます。

塗装上の注意事項

- 一度取り出したプライマーは、ゲル化の恐れがあるため、元の缶に戻さないでください。
- 密着不良が生じる恐れがあるため、必ず2日以内に上塗り塗装を行ってください。
- 2日を越えて塗装間隔が空いた場合には、エポロ油面用プライマー面を入念にサンディングし、サンディングしにくい部分はシンナー拭きしてから次工程の塗装を行ってください。
- 吸い込みが激しい場合は、シンナーで薄めて捨て塗りしてください。
- セメントとプライマーを混合後、時間の経過とともにセメントが沈降します。そのため、セメントとプライマーは塗装直前に十分に攪拌してください。
- 標準塗装量を守って、塗り残しのないように均一に塗装してください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上、表面に結露が見られる場合には施工を避けてください。
- 調合した材料は、可使時間以内に使い切ってください。特に夏場は硬化が早くなるので注意してください。
- 塗装中、養生中は換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにしてください。

一般性状

項目	結果	試験方法
粘度	12秒	フローカップ No.5
比重	0.85	比重カップ法(23℃)
加熱残分	35%	JIS K5601
貯蔵安定性	異常なし	6ヶ月貯蔵(30℃)
可使時間	8時間	23℃

荷姿

材料名	容量	標準塗り面積
エポロ油面用プライマー	17kg	56m ² /2回



イサム塗料株式会社